

## 2 アジア州の農業・文化と経済発展

### ○気候と農業・食の結び付き

東アジアから南アジア: 季節風の影響で湿潤、平野部に多くの人が暮らし農業が盛ん

- インドのガンジス河流域・中国の南部・東南アジアの平野部:( )による( )
- ※( )とは、農作物を育てるための水を河川や地下水などから水路を引き、農地を潤すこと
- インドの西部・中国の北部: 小麦やトウモロコシなど( )が中心
- 西アジア・中央アジア: 羊やラクダなどの家畜を飼う( )が行われる

<米と小麦の生産(2018)>

米の生産(7億8200万t)		小麦の生産(7億3518万t)	
中国	27.1%	中国	17.9%
インド	22.1	インド	13.6
インドネシア	10.6	ロシア	9.8
バングラデシュ	7.2	アメリカ	7.0
ベトナム	5.6	フランス	4.9
タイ	4.1	カナダ	4.3
その他	23.3	その他	42.5

### ○交流によって広まった宗教

- ( ): インドで生まれ、スリランカから東南アジア、シルクロードから中国・朝鮮半島、日本に伝わる
- ( ): 西アジア・中央アジア中心。インド洋の海上貿易で南アジア・東南アジアに伝わる
- ( ): インドで信仰される
- ( ): ヨーロッパの人々の布教活動や植民地支配によりアジア各地に広がる

<各国の宗教別人口の割合>

タイ(2015)		インドネシア(2010)		フィリピン(2015)		インド(2011)		イラン(2011)	
仏教	94.6%	イスラム教	87.2%	キリスト教	91.8%	ヒンドゥー教	79.8%	イスラム教	99.3%
イスラム教	4.3	キリスト教	9.9	イスラム教	6.0	イスラム教	14.2	その他	0.7
その他	1.1	ヒンドゥー教	1.7	その他	2.2	キリスト教	2.3		
		その他	1.2			その他	3.7		

### ○人口の集中と経済発展

アジア: 世界の総人口の6割が暮らす→季節風で湿潤となる地域に集中

- 20世紀後半: 日本に続き、韓国やシンガポールなどの経済が発展
- 21世紀: 東南アジアや中国の経済が発展、この動きは南アジアへ広がる
- 経済発展を遂げた国では( )が進む